

ランサムウェア攻撃に注意！

令和3年6月

パソコン等の端末やサーバ上のデータを暗号化する等して使用不可にし、それらを復旧することと引き換えに身代金を支払うよう脅迫するランサムウェア攻撃については、引き続き注意が必要なサイバー攻撃であり、「情報セキュリティ10大脅威2021」の組織部門で第1位に選出されています。

従来の攻撃は、明確な標的を定めず、不特定多数にウイルスメールをばらまき、広く無差別に攻撃をおこなうものでしたが、新たな攻撃手法として、**明確に標的を定め、身代金を支払わざるを得ないような状況を作り出す攻撃**も増えています。

従来の攻撃

攻撃者 不特定多数に攻撃



ばらまき型メール
悪意のあるWebサイト



ワーム機能



データの復旧と引き換えに身代金を要求

新たな攻撃

攻撃者 企業・組織を標的に攻撃



企業・組織のネットワークへひそかに侵入

ネットワーク内で侵害範囲拡大

機微情報の窃取・暗号化



ネットワーク内の端末やサーバを一斉に攻撃

データ・システムの復旧と引き換えに身代金を要求
＋
窃取したデータを公開しないことと引き換えに身代金を要求

【対策】



○ 企業・組織のネットワークへの侵入対策

インターネットからアクセス可能な装置全体について、アクセス制御が適切にできているか、認証が突破される可能性はないか、脆弱性は解消されているか等について、今一度確認してください。

○ データ・システムのバックアップ

ネットワークにバックアップサーバが接続されていると、バックアップサーバも被害に遭う可能性があります。バックアップを確実に取得し、守ることができるよう、必要に応じて設定や構成を見直してください。

参考 IPA（情報処理推進機構）

ランサムウェア攻撃による被害は京都府内でも発生しています。
上記対策を参考に、被害防止に努めてください。



京都府警察本部サイバー犯罪対策課 電話 075-451-9111 (代表)